

令和7年度 福井県ファシリテーション スキルアップ研修

令和7年9月1日

L&Mらふみー 山口陽一

本日の予定（午前中）

1. 演習1：グループワーク①

2. 講義1

「ファシリテーションの技術」（70分）

3. 演習2：グループワーク②

「ファシリテーションを生かした演習」（20分）

4. 講義2

「会議の構造と工夫の仕方」

本日の予定（午後の後半）

5. 演習3：グループワーク（30分）

「会議をより活性化させるためのアイデア共有」

6. 演習4：グループワーク（50分）

「ファシリテーション技術を生かした会議の進行」

7. 休憩（15分）

8. 演習5：グループワーク（130分）

「GSVにおけるファシリテーションの実践」

9. 講義：研修のまとめ（10分）

演習 3 : グループワーク

▶ Ft技術を用いた会議の実践

- ・ テーマに沿って、Ft技術を用いた会議の実践を行い、経験をしてみましょう。まずは役割を決めてください。

(1回目)

ファシリ役 (1名)	
板書担当 (1名)	
会議参加者 (4名)	

(2回目)

ファシリ役 (1名)	
板書担当 (1名)	
会議参加者 (4名)	

演習 3 : グループワーク

▶ Ft技術を用いた会議の実践

テーマ 1 : 会議をより活性化させるためのアイディアを出し合おう！

1. グループファシリと一緒に会議の事前打ち合わせを行う。(昼休みに5分程)
2. ファシリ役の人を中心に、会議の開催を行う。(20分)
3. 振り返りを行う。

演習4：グループワーク

▶ Ft技術を用いた会議の実践

テーマ2：イベント企画しよう

「共生社会に向けた啓発イベントを企画しよう！」

1. グループファシリと一緒に会議の事前打ち合わせを行う。（5～10分程）
2. ファシリ役の人を中心に、会議の開催を行う。（40分）
3. 振り返りを行う。（10分）

振り返りのポイント

1. ファシリ、板書役をしてみても

- ・事前の打ち合わせやイメージしていた形での会議進行がなされたか？
- ・改善があれば、どの点を意識すると良かったか？

2. 会議の活性化について

- ・ファシリテーションの技術を使った会議と使わない会議の比較と会議の工夫について振り返る。

演習 5 : グループワーク

▶ GSVにおけるファシリテーションの実践

1. 講 義 : GSV (グループスーパービジョン) とは
2. 演習① : GSVにおけるファシリテーションの実践
(デモンストレーション)
3. 演習② : GSVにおけるファシリテーションの実践
(受講生の実践)

ファシリテーターの心得

▶ 事前準備（イメトレ）を入念に

指導ポイントや演習の流れをインプットしておく

▶ 当日は場づくりに細心の注意を払う

安心・安全な場の確保 → 活発な場づくり

メンバーの頭をフルに活用するにはどうしたらいいか常に考える
メンバーの話に全神経をフォーカスする（長々喋らない）

▶ メンバーの力を信じ、コントロールしようとしな

プロセスをコントロールし、発言はコントロールしない

演習はとかく空中戦になりやすいので、ファシリテーターはホワイトボード等を活用し、地上戦に持ち込む工夫が必要です。

あなたはどんなファシリテーター？

▶ 生まれ持ったのファシリテーター

▶ 演技派のファシリテーター

研修のまとめ

- ▶ ファシリテーターは場数が何より大切
- ▶ 成功の秘訣は、事前準備にある
- ▶ ファシリテーターを演じること
- ▶ ファシリテーションの技術は365日いつでも使える
- ▶ 現場での円滑な会議は日頃の関係性にある
- ▶ 進行役でなくてもファシリテーションの技術を使うことで、会議は活性化される